【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和6年4月18日(2024.4.18)

【国際公開番号】WO2023/218531
【出願番号】特願2023-552526(P2023-552526)
【国際特許分類】
Ｇ０７Ｃ　9/29(2020.01)
【ＦＩ】
Ｇ０７Ｃ　9/29

【手続補正書】
【提出日】令和5年8月30日(2023.8.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
利用登録の有無に関わらず利用者が入場できる第１のエリアに設置され、無線通信を行う第１の無線通信装置と、
登録された利用者である登録者の入場が許可され、前記登録者以外の利用者の入場が制限されている第２のエリアに設置され、無線通信を行う第２の無線通信装置と、
前記第１の無線通信装置及び前記第２の無線通信装置と通信を行う条件判定装置と、を備え、
前記条件判定装置は、
前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場要求である第１の入場要求、又は、前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場要求である第２の入場要求を行う利用者である要求者が使用する携帯端末から、前記第１の入場要求又は前記第２の入場要求を受信するとともに、前記携帯端末で計測された、前記携帯端末と前記第１の無線通信装置との間の間隔に応じて変化する物理量である第１の物理量、及び、前記携帯端末と前記第２の無線通信装置との間の間隔に応じて変化する物理量である第２の物理量を、前記携帯端末から受信する通信部と、
前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量及び前記第２の物理量から、前記携帯端末が前記第１のエリアに存在すると判断することができ、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量及び前記第２の物理量から、前記携帯端末が前記第２のエリアに存在すると判断することができるときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可する制御部と、を備えること
を特徴とする入場許否判定システム。
【請求項２】
前記通信部は、前記第１の物理量として、前記第１の無線通信装置からの電波を前記携帯端末が受信した強度である第１の電波強度を受信し、前記第２の物理量として、前記第２の無線通信装置からの電波を前記携帯端末が受信した強度である第２の電波強度を受信し、
前記制御部は、前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の電波強度が前記第２の電波強度よりも強く、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記携帯端

末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記第２の電波強度が前記第１の電波強度よりも強いときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可すること
を特徴とする請求項１に記載の入場許否判定システム。
【請求項３】
前記通信部は、前記第１の物理量として、前記携帯端末が前記第１の無線通信装置に電波を送信してから、前記第１の無線通信装置からの応答の電波を受信するまでの時間である第１の通信時間を受信し、前記第２の物理量として、前記携帯端末が前記第２の無線通信装置に電波を送信してから、前記第２の無線通信装置からの応答の電波を受信するまでの時間である第２の通信時間を受信し、
前記制御部は、前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の通信時間が前記第２の通信時間よりも短く、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記第２の通信時間が前記第１の通信時間よりも短いときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可すること
を特徴とする請求項１に記載の入場許否判定システム。
【請求項４】
前記通信部は、前記第１の物理量として、前記携帯端末が前記第１の無線通信装置に電波を送信してから、前記第１の無線通信装置からの応答の電波を受信するまでの時間である第１の通信時間を受信し、前記第２の物理量として、前記携帯端末が前記第２の無線通信装置に電波を送信してから、前記第２の無線通信装置からの応答の電波を受信するまでの時間である第２の通信時間を受信し、
前記制御部は、前記第１の通信時間から、前記携帯端末と前記第１の無線通信装置との間の距離である第１の距離を算出し、前記第２の通信時間から、前記携帯端末と前記第２の無線通信装置との間の距離である第２の距離を算出し、
前記制御部は、前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の距離が前記第２の距離よりも短く、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記第２の距離が前記第１の距離よりも短いときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可すること
を特徴とする請求項１に記載の入場許否判定システム。
【請求項５】
前記通信部は、前記第１の物理量として、前記携帯端末と前記第１の無線通信装置との間の距離である第１の距離を受信し、前記第２の物理量として、前記携帯端末と前記第２の無線通信装置との間の距離である第２の距離を受信し、
前記制御部は、前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の距離が前記第２の距離よりも短く、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記第２の距離が前記第１の距離よりも短いときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可すること
を特徴とする請求項１に記載の入場許否判定システム。
【請求項６】
前記第１のエリア及び前記第２のエリアの間には、前記第１のエリアと、前記第２のエリアとを遮断するための遮断部材が設けられており、
前記制御部は、前記入場を許可した場合には、前記遮断部材を開くことができるようにし、前記入場を許可しない場合には、前記遮断部材を開くことができないようにすること
を特徴とする請求項１から５の何れか一項に記載の入場許否判定システム。
【請求項７】
前記第１のエリア及び前記第２のエリアの間には、第３のエリアが設けられており、

前記第１のエリア及び前記第３のエリアの間には、前記第１のエリアと、前記第３のエリアとを遮断するための第１の遮断部材が設けられており、
前記第２のエリア及び前記第３のエリアの間には、前記第２のエリアと、前記第３のエリアとを遮断するための第２の遮断部材が設けられており、
前記制御部は、前記入場を許可した場合には、前記第１の遮断部材及び前記第２の遮断部材を開くことができるようにし、前記入場を許可しない場合には、前記第１の遮断部材及び前記第２の遮断部材を開くことができないようにすること
を特徴とする請求項１から５の何れか一項に記載の入場許否判定システム。
【請求項８】
利用登録の有無に関わらず利用者が入場できる第１のエリアと、登録された利用者である登録者の入場が許可され、前記登録者以外の利用者の入場が制限されている第２のエリアとの間に配置されている第３のエリアに設置され、無線通信を行う無線通信装置と、
前記無線通信装置と通信を行う条件判定装置と、を備え、
前記条件判定装置は、
前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場要求である第１の入場要求、又は、前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場要求である第２の入場要求を行う利用者である要求者が使用する携帯端末から、前記第１の入場要求又は前記第２の入場要求を受信するとともに、前記携帯端末で計測された、前記携帯端末と前記無線通信装置との間の間隔に応じて変化する物理量を、前記携帯端末から受信する通信部と、
前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記物理量から、前記携帯端末が前記第３のエリアに存在しないと判断することができ、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記物理量から、前記携帯端末が前記第３のエリアに存在しないと判断することができるときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可する制御部と、を備えること
を特徴とする入場許否判定システム。
【請求項９】
前記通信部は、前記物理量として、前記無線通信装置からの電波を前記携帯端末が受信した強度である電波強度を受信し、
前記制御部は、前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記電波強度が予め定められた閾値よりも弱く、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記電波強度が前記閾値よりも弱いときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可すること
を特徴とする請求項８に記載の入場許否判定システム。
【請求項１０】
前記通信部は、前記物理量として、前記携帯端末が前記無線通信装置に電波を送信してから、前記無線通信装置からの応答の電波を受信するまでの時間である通信時間を受信し、
前記制御部は、前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記通信時間が予め定められた閾値よりも長く、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記通信時間が前記閾値よりも長いときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可すること
を特徴とする請求項８に記載の入場許否判定システム。
【請求項１１】
前記通信部は、前記物理量として、前記携帯端末が前記無線通信装置に電波を送信してから、前記無線通信装置からの応答の電波を受信するまでの時間である通信時間を受信し、
前記制御部は、前記通信時間から、前記携帯端末と前記無線通信装置との間の距離を算

出し、
前記制御部は、前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記距離が予め定められた閾値よりも長く、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記距離が前記閾値よりも長いときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可すること
を特徴とする請求項８に記載の入場許否判定システム。
【請求項１２】
前記通信部は、前記物理量として、前記携帯端末と前記無線通信装置との間の距離を受信し、
前記制御部は、前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記距離が予め定められた閾値よりも長く、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記距離が前記閾値よりも長いときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可すること
を特徴とする請求項８に記載の入場許否判定システム。
【請求項１３】
利用登録の有無に関わらず利用者が入場できる第１のエリアに設置され、無線通信を行う第１の無線通信装置と、
登録された利用者である登録者の入場が許可され、前記登録者以外の利用者の入場が制限されている第２のエリアに設置され、無線通信を行う第２の無線通信装置と、
前記第１のエリアと、前記第２のエリアとの間に配置されている第３のエリアに設置され、無線通信を行う第３の無線通信装置と、
前記第１の無線通信装置、前記第２の無線通信装置及び前記第３の無線通信装置と通信を行う条件判定装置と、を備え、
前記条件判定装置は、
前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場要求である第１の入場要求、又は、前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場要求である第２の入場要求を行う利用者である要求者が使用する携帯端末から、前記第１の入場要求又は前記第２の入場要求を受信するとともに、前記携帯端末で計測された、前記携帯端末と前記第１の無線通信装置との間の間隔に応じて変化する物理量である第１の物理量、前記携帯端末と前記第２の無線通信装置との間の間隔に応じて変化する物理量である第２の物理量、及び、前記携帯端末と前記第３の無線通信装置との間の間隔に応じて変化する物理量である第３の物理量を、前記携帯端末から受信する通信部と、
前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量、前記第２の物理量及び前記第３の物理量から、前記携帯端末が前記第１のエリアに存在すると判断することができ、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量、前記第２の物理量及び前記第３の物理量から、前記携帯端末が前記第２のエリアに存在すると判断することができるときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可する制御部と、を備えること
を特徴とする入場許否判定システム。
【請求項１４】
前記通信部は、前記第１の物理量として、前記第１の無線通信装置からの電波を前記携帯端末が受信した強度である第１の電波強度を受信し、前記第２の物理量として、前記第２の無線通信装置からの電波を前記携帯端末が受信した強度である第２の電波強度を受信し、前記第３の物理量として、前記第３の無線通信装置からの電波を前記携帯端末が受信した強度である第３の電波強度を受信し
前記制御部は、前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記第１

の電波強度が前記第２の電波強度よりも強く、前記第３の電波強度が予め定められた閾値よりも弱く、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記第２の電波強度が前記第１の電波強度よりも強く、かつ、前記第３の電波強度が前記閾値よりも弱いときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可すること

を特徴とする請求項１３に記載の入場許否判定システム。

【請求項１５】

前記通信部は、前記第１の物理量として、前記携帯端末が前記第１の無線通信装置に電波を送信してから、前記第１の無線通信装置からの応答の電波を受信するまでの時間である第１の通信時間を受信し、前記第２の物理量として、前記携帯端末が前記第２の無線通信装置に電波を送信してから、前記第２の無線通信装置からの応答の電波を受信するまでの時間である第２の通信時間を受信し、前記第３の物理量として、前記携帯端末が前記第３の無線通信装置に電波を送信してから、前記第３の無線通信装置からの応答の電波を受信するまでの時間である第３の通信時間を受信し、

前記制御部は、前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の通信時間が前記第２の通信時間よりも短く、前記第３の通信時間が予め定められた閾値よりも長く、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記第２の通信時間が前記第１の通信時間よりも短く、かつ、前記第３の通信時間が前記閾値よりも長いときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可すること

を特徴とする請求項１３に記載の入場許否判定システム。

【請求項１６】

前記通信部は、前記第１の物理量として、前記携帯端末が前記第１の無線通信装置に電波を送信してから、前記第１の無線通信装置からの応答の電波を受信するまでの時間である第１の通信時間を受信し、前記第２の物理量として、前記携帯端末が前記第２の無線通信装置に電波を送信してから、前記第２の無線通信装置からの応答の電波を受信するまでの時間である第２の通信時間を受信し、前記第３の物理量として、前記携帯端末が前記第３の無線通信装置に電波を送信してから、前記第３の無線通信装置からの応答の電波を受信するまでの時間である第３の通信時間を受信し、

前記制御部は、前記第１の通信時間から、前記携帯端末と前記第１の無線通信装置との間の距離である第１の距離を算出し、前記第２の通信時間から、前記携帯端末と前記第２の無線通信装置との間の距離である第２の距離を算出し、前記第３の通信時間から、前記携帯端末と前記第３の無線通信装置との間の距離である第３の距離を算出し、

前記制御部は、前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の距離が前記第２の距離よりも短く、前記第３の距離が予め定められた閾値よりも長く、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記第２の距離が前記第１の距離よりも短く、前記第３の距離が前記閾値よりも長いときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可すること

を特徴とする請求項１３に記載の入場許否判定システム。

【請求項１７】

前記通信部は、前記第１の物理量として、前記携帯端末と前記第１の無線通信装置との間の距離である第１の距離を受信し、前記第２の物理量として、前記携帯端末と前記第２の無線通信装置との間の距離である第２の距離を受信し、前記第３の物理量として、前記携帯端末と前記第３の無線通信装置との間の距離である第３の距離を受信し、

前記制御部は、前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の距離が前記第２の距離よりも短く、前記第３の距離が予め定められた閾値よりも長く、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第

２のエリアへの入場を許可し、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記第２の距離が前記第１の距離よりも短く、かつ、前記第３の距離が前記閾値よりも長いときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可すること
を特徴とする請求項１３に記載の入場許否判定システム。
【請求項１８】
前記第１のエリアは、建物の予め定められた階である第１の階であり、
前記第２のエリアは、前記建物の、前記第１の階とは異なる階である第２の階であり、
前記第３のエリアは、前記建物のエレベータシステムで使用されているかごであること
を特徴とする請求項８から１７の何れか一項に記載の入場許否判定システム。
【請求項１９】
利用登録の有無に関わらず利用者が入場できる第１のエリアから、登録された利用者である登録者の入場が許可され、前記登録者以外の利用者の入場が制限されている第２のエリアへの入場要求である第１の入場要求、又は、前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場要求である第２の入場要求を行う利用者である要求者が使用する携帯端末から、前記第１の入場要求又は前記第２の入場要求を受信するとともに、前記携帯端末で計測された、前記第１のエリアに設置され、前記携帯端末と無線通信を行う第１の無線通信装置と前記携帯端末との間の間隔に応じて変化する物理量である第１の物理量、及び、前記第２のエリアに設置され、無線通信を行う第２の無線通信装置と前記携帯端末との間隔に応じて変化する物理量である第２の物理量を、前記携帯端末から受信する通信部と、
前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量及び前記第２の物理量から、前記携帯端末が前記第１のエリアに存在すると判断することができ、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量及び前記第２の物理量から、前記携帯端末が前記第２のエリアに存在すると判断することができるときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可する制御部と、を備えること
を特徴とする入場許否判定装置。
【請求項２０】
利用登録の有無に関わらず利用者が入場できる第１のエリアから、登録された利用者である登録者の入場が許可され、前記登録者以外の利用者の入場が制限されている第２のエリアへの入場要求である第１の入場要求、又は、前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場要求である第２の入場要求を行う利用者である要求者が使用する携帯端末から、前記第１の入場要求又は前記第２の入場要求を受信するとともに、前記携帯端末で計測された、前記第１のエリアと、前記第２のエリアとの間に配置されている第３のエリアに設置され、前記携帯端末と無線通信を行う無線通信装置と前記携帯端末との間の間隔に応じて変化する物理量を、前記携帯端末から受信する通信部と、
前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記物理量から、前記携帯端末が前記第３のエリアに存在しないと判断することができ、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記物理量から、前記携帯端末が前記第３のエリアに存在しないと判断することができるときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可する制御部と、を備えること
を特徴とする入場許否判定装置。
【請求項２１】
利用登録の有無に関わらず利用者が入場できる第１のエリアから、登録された利用者である登録者の入場が許可され、前記登録者以外の利用者の入場が制限されている第２のエリアへの入場要求である第１の入場要求、又は、前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場要求である第２の入場要求を行う利用者である要求者が使用する携帯端末から、前記第１の入場要求又は前記第２の入場要求を受信するとともに、前記携帯端末で計測さ

れた、前記第１のエリアに設置され、前記携帯端末と無線通信を行う第１の無線通信装置と前記携帯端末との間の間隔に応じて変化する物理量である第１の物理量、前記第２のエリアに設置され、前記携帯端末と無線通信を行う第２の無線通信装置と前記携帯端末との間の間隔に応じて変化する物理量である第２の物理量、及び、前記第１のエリアと、前記第２のエリアとの間に配置されている第３のエリアに設置され、前記携帯端末と無線通信を行う第３の無線通信装置と前記携帯端末との間の間隔に応じて変化する物理量である第３の物理量を、前記携帯端末から受信する通信部と、

前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量、前記第２の物理量及び前記第３の物理量から、前記携帯端末が前記第１のエリアに存在すると判断することができ、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量、前記第２の物理量及び前記第３の物理量から、前記携帯端末が前記第２のエリアに存在すると判断することができるときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可する制御部と、を備えること

を特徴とする入場許否判定装置。

【請求項２２】

コンピュータを、

利用登録の有無に関わらず利用者が入場できる第１のエリアから、登録された利用者である登録者の入場が許可され、前記登録者以外の利用者の入場が制限されている第２のエリアへの入場要求である第１の入場要求、又は、前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場要求である第２の入場要求を行う利用者である要求者が使用する携帯端末から、前記第１の入場要求又は前記第２の入場要求を受信するとともに、前記携帯端末で計測された、前記第１のエリアに設置され、前記携帯端末と無線通信を行う第１の無線通信装置と前記携帯端末との間の間隔に応じて変化する物理量である第１の物理量、及び、前記第２のエリアに設置され、無線通信を行う第２の無線通信装置と前記携帯端末との間隔に応じて変化する物理量である第２の物理量を、前記携帯端末から受信する通信部、及び、

前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量及び前記第２の物理量から、前記携帯端末が前記第１のエリアに存在すると判断することができ、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量及び前記第２の物理量から、前記携帯端末が前記第２のエリアに存在すると判断することができるときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可する制御部、として機能させること

を特徴とするプログラム。

【請求項２３】

コンピュータを、

利用登録の有無に関わらず利用者が入場できる第１のエリアから、登録された利用者である登録者の入場が許可され、前記登録者以外の利用者の入場が制限されている第２のエリアへの入場要求である第１の入場要求、又は、前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場要求である第２の入場要求を行う利用者である要求者が使用する携帯端末から、前記第１の入場要求又は前記第２の入場要求を受信するとともに、前記携帯端末で計測された、前記第１のエリアと、前記第２のエリアとの間に配置されている第３のエリアに設置され、前記携帯端末と無線通信を行う無線通信装置と前記携帯端末との間の間隔に応じて変化する物理量を、前記携帯端末から受信する通信部、及び、

前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記物理量から、前記携帯端末が前記第３のエリアに存在しないと判断することができ、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記物理量から、前記携帯端末が前記第３のエリアに存在しないと判断することができるときに、前記要求者

の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可する制御部、として機能させること
を特徴とするプログラム。
【請求項２４】
コンピュータを、
利用登録の有無に関わらず利用者が入場できる第１のエリアから、登録された利用者である登録者の入場が許可され、前記登録者以外の利用者の入場が制限されている第２のエリアへの入場要求である第１の入場要求、又は、前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場要求である第２の入場要求を行う利用者である要求者が使用する携帯端末から、前記第１の入場要求又は前記第２の入場要求を受信するとともに、前記携帯端末で計測された、前記第１のエリアに設置され、前記携帯端末と無線通信を行う第１の無線通信装置と前記携帯端末との間の間隔に応じて変化する物理量である第１の物理量、前記第２のエリアに設置され、前記携帯端末と無線通信を行う第２の無線通信装置と前記携帯端末との間の間隔に応じて変化する物理量である第２の物理量、及び、前記第１のエリアと、前記第２のエリアとの間に配置されている第３のエリアに設置され、前記携帯端末と無線通信を行う第３の無線通信装置と前記携帯端末との間の間隔に応じて変化する物理量である第３の物理量を、前記携帯端末から受信する通信部、及び、
前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量、前記第２の物理量及び前記第３の物理量から、前記携帯端末が前記第１のエリアに存在すると判断することができ、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量、前記第２の物理量及び前記第３の物理量から、前記携帯端末が前記第２のエリアに存在すると判断することができるときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可する制御部、として機能させること
を特徴とするプログラム。
【請求項２５】
通信部が、利用登録の有無に関わらず利用者が入場できる第１のエリアから、登録された利用者である登録者の入場が許可され、前記登録者以外の利用者の入場が制限されている第２のエリアへの入場要求である第１の入場要求、又は、前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場要求である第２の入場要求を行う利用者である要求者が使用する携帯端末から、前記第１の入場要求又は前記第２の入場要求を受信し、
前記通信部が、前記携帯端末で計測された、前記第１のエリアに設置され、前記携帯端末と無線通信を行う第１の無線通信装置と前記携帯端末との間の間隔に応じて変化する物理量である第１の物理量、及び、前記第２のエリアに設置され、無線通信を行う第２の無線通信装置と前記携帯端末との間隔に応じて変化する物理量である第２の物理量を、前記携帯端末から受信し、
制御部が、前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量及び前記第２の物理量から、前記携帯端末が前記第１のエリアに存在すると判断することができ、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、
前記制御部が、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量及び前記第２の物理量から、前記携帯端末が前記第２のエリアに存在すると判断することができるときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可すること
を特徴とする入場許否判定方法。
【請求項２６】
通信部が、利用登録の有無に関わらず利用者が入場できる第１のエリアから、登録された利用者である登録者の入場が許可され、前記登録者以外の利用者の入場が制限されている第２のエリアへの入場要求である第１の入場要求、又は、前記第２のエリアから前記第１

のエリアへの入場要求である第２の入場要求を行う利用者である要求者が使用する携帯端末から、前記第１の入場要求又は前記第２の入場要求を受信し、
前記通信部が、前記携帯端末で計測された、前記第１のエリアと、前記第２のエリアとの間に配置されている第３のエリアに設置され、前記携帯端末と無線通信を行う無線通信装置と前記携帯端末との間の間隔に応じて変化する物理量を、前記携帯端末から受信し、
制御部が、前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記物理量から、前記携帯端末が前記第３のエリアに存在しないと判断することができ、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、
前記制御部が、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記物理量から、前記携帯端末が前記第３のエリアに存在しないと判断することができるときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可すること
を特徴とする入場許否判定方法。
【請求項２７】
通信部が、利用登録の有無に関わらず利用者が入場できる第１のエリアから、登録された利用者である登録者の入場が許可され、前記登録者以外の利用者の入場が制限されている第２のエリアへの入場要求である第１の入場要求、又は、前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場要求である第２の入場要求を行う利用者である要求者が使用する携帯端末から、前記第１の入場要求又は前記第２の入場要求を受信し、
前記通信部が、前記携帯端末で計測された、前記第１のエリアに設置され、前記携帯端末と無線通信を行う第１の無線通信装置と前記携帯端末との間の間隔に応じて変化する物理量である第１の物理量、前記第２のエリアに設置され、前記携帯端末と無線通信を行う第２の無線通信装置と前記携帯端末との間の間隔に応じて変化する物理量である第２の物理量、及び、前記第１のエリアと、前記第２のエリアとの間に配置されている第３のエリアに設置され、前記携帯端末と無線通信を行う第３の無線通信装置と前記携帯端末との間の間隔に応じて変化する物理量である第３の物理量を、前記携帯端末から受信し、
制御部が、前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量、前記第２の物理量及び前記第３の物理量から、前記携帯端末が前記第１のエリアに存在すると判断することができ、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、
前記制御部が、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量、前記第２の物理量及び前記第３の物理量から、前記携帯端末が前記第２のエリアに存在すると判断することができるときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可すること
を特徴とする入場許否判定方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本開示の第１の態様に係る入場許否判定システムは、利用登録の有無に関わらず利用者が入場できる第１のエリアに設置され、無線通信を行う第１の無線通信装置と、登録された利用者である登録者の入場が許可され、前記登録者以外の利用者の入場が制限されている第２のエリアに設置され、無線通信を行う第２の無線通信装置と、前記第１の無線通信装置及び前記第２の無線通信装置と通信を行う条件判定装置と、を備え、前記条件判定装置は、前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場要求である第１の入場要求、又は、前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場要求である第２の入場要求を行う利用者である要求者が使用する携帯端末から、前記第１の入場要求又は前記第２の入場要求を受信するとともに、前記携帯端末で計測された、前記携帯端末と前記第１の無線通信装置

との間の間隔に応じて変化する物理量である第１の物理量、及び、前記携帯端末と前記第２の無線通信装置との間の間隔に応じて変化する物理量である第２の物理量を、前記携帯端末から受信する通信部と、前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量及び前記第２の物理量から、前記携帯端末が前記第１のエリアに存在すると判断することができ、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量及び前記第２の物理量から、前記携帯端末が前記第２のエリアに存在すると判断することができるときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可する制御部と、を備えることを特徴とする。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本開示の第２の態様に係る入場許否判定システムは、利用登録の有無に関わらず利用者が入場できる第１のエリアと、登録された利用者である登録者の入場が許可され、前記登録者以外の利用者の入場が制限されている第２のエリアとの間に配置されている第３のエリアに設置され、無線通信を行う無線通信装置と、前記無線通信装置と通信を行う条件判定装置と、を備え、前記条件判定装置は、前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場要求である第１の入場要求、又は、前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場要求である第２の入場要求を行う利用者である要求者が使用する携帯端末から、前記第１の入場要求又は前記第２の入場要求を受信するとともに、前記携帯端末で計測された、前記携帯端末と前記無線通信装置との間の間隔に応じて変化する物理量を、前記携帯端末から受信する通信部と、前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記物理量から、前記携帯端末が前記第３のエリアに存在しないと判断することができ、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記物理量から、前記携帯端末が前記第３のエリアに存在しないと判断することができるときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可する制御部と、を備えることを特徴とする。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本開示の第３の態様に係る入場許否判定システムは、利用登録の有無に関わらず利用者が入場できる第１のエリアに設置され、無線通信を行う第１の無線通信装置と、登録された利用者である登録者の入場が許可され、前記登録者以外の利用者の入場が制限されている第２のエリアに設置され、無線通信を行う第２の無線通信装置と、前記第１のエリアと、前記第２のエリアとの間に配置されている第３のエリアに設置され、無線通信を行う第３の無線通信装置と、前記第１の無線通信装置、前記第２の無線通信装置及び前記第３の無線通信装置と通信を行う条件判定装置と、を備え、前記条件判定装置は、前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場要求である第１の入場要求、又は、前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場要求である第２の入場要求を行う利用者である要求者が使用する携帯端末から、前記第１の入場要求又は前記第２の入場要求を受信するとともに、前記携帯端末で計測された、前記携帯端末と前記第１の無線通信装置との間の間隔に応じて変化する物理量である第１の物理量、前記携帯端末と前記第２の無線通信装置との間の

間隔に応じて変化する物理量である第２の物理量、及び、前記携帯端末と前記第３の無線通信装置との間の間隔に応じて変化する物理量である第３の物理量を、前記携帯端末から受信する通信部と、前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量、前記第２の物理量及び前記第３の物理量から、前記携帯端末が前記第１のエリアに存在すると判断することができ、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量、前記第２の物理量及び前記第３の物理量から、前記携帯端末が前記第２のエリアに存在すると判断することができるときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可する制御部と、を備えることを特徴とする。

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
本開示の第１の態様に係る入場許否判定装置は、利用登録の有無に関わらず利用者が入場できる第１のエリアから、登録された利用者である登録者の入場が許可され、前記登録者以外の利用者の入場が制限されている第２のエリアへの入場要求である第１の入場要求、又は、前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場要求である第２の入場要求を行う利用者である要求者が使用する携帯端末から、前記第１の入場要求又は前記第２の入場要求を受信するとともに、前記携帯端末で計測された、前記第１のエリアに設置され、前記携帯端末と無線通信を行う第１の無線通信装置と前記携帯端末との間の間隔に応じて変化する物理量である第１の物理量、及び、前記第２のエリアに設置され、無線通信を行う第２の無線通信装置と前記携帯端末との間隔に応じて変化する物理量である第２の物理量を、前記携帯端末から受信する通信部と、前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量及び前記第２の物理量から、前記携帯端末が前記第１のエリアに存在すると判断することができ、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量及び前記第２の物理量から、前記携帯端末が前記第２のエリアに存在すると判断することができるときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可する制御部と、を備えることを特徴とする。

【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
本開示の第２の態様に係る入場許否判定装置は、利用登録の有無に関わらず利用者が入場できる第１のエリアから、登録された利用者である登録者の入場が許可され、前記登録者以外の利用者の入場が制限されている第２のエリアへの入場要求である第１の入場要求、又は、前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場要求である第２の入場要求を行う利用者である要求者が使用する携帯端末から、前記第１の入場要求又は前記第２の入場要求を受信するとともに、前記携帯端末で計測された、前記第１のエリアと、前記第２のエリアとの間に配置されている第３のエリアに設置され、前記携帯端末と無線通信を行う無線通信装置と前記携帯端末との間の間隔に応じて変化する物理量を、前記携帯端末から受信する通信部と、前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記物理量から、前記携帯端末が前記第３のエリアに存在しないと判断することができ、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエ

リアへの入場を許可し、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記物理量から、前記携帯端末が前記第３のエリアに存在しないと判断することができるときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可する制御部と、を備えることを特徴とする。

【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】

本開示の第３の態様に係る入場許否判定装置は、利用登録の有無に関わらず利用者が入場できる第１のエリアから、登録された利用者である登録者の入場が許可され、前記登録者以外の利用者の入場が制限されている第２のエリアへの入場要求である第１の入場要求、又は、前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場要求である第２の入場要求を行う利用者である要求者が使用する携帯端末から、前記第１の入場要求又は前記第２の入場要求を受信するとともに、前記携帯端末で計測された、前記第１のエリアに設置され、前記携帯端末と無線通信を行う第１の無線通信装置と前記携帯端末との間の間隔に応じて変化する物理量である第１の物理量、前記第２のエリアに設置され、前記携帯端末と無線通信を行う第２の無線通信装置と前記携帯端末との間の間隔に応じて変化する物理量である第２の物理量、及び、前記第１のエリアと、前記第２のエリアとの間に配置されている第３のエリアに設置され、前記携帯端末と無線通信を行う第３の無線通信装置と前記携帯端末との間の間隔に応じて変化する物理量である第３の物理量を、前記携帯端末から受信する通信部と、前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量、前記第２の物理量及び前記第３の物理量から、前記携帯端末が前記第１のエリアに存在すると判断することができ、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量、前記第２の物理量及び前記第３の物理量から、前記携帯端末が前記第２のエリアに存在すると判断することができるときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可する制御部と、を備えることを特徴とする。

【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】

本開示の第１の態様に係るプログラムは、コンピュータを、利用登録の有無に関わらず利用者が入場できる第１のエリアから、登録された利用者である登録者の入場が許可され、前記登録者以外の利用者の入場が制限されている第２のエリアへの入場要求である第１の入場要求、又は、前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場要求である第２の入場要求を行う利用者である要求者が使用する携帯端末から、前記第１の入場要求又は前記第２の入場要求を受信するとともに、前記携帯端末で計測された、前記第１のエリアに設置され、前記携帯端末と無線通信を行う第１の無線通信装置と前記携帯端末との間の間隔に応じて変化する物理量である第１の物理量、及び、前記第２のエリアに設置され、無線通信を行う第２の無線通信装置と前記携帯端末との間隔に応じて変化する物理量である第２の物理量を、前記携帯端末から受信する通信部、及び、前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量及び前記第２の物理量から、前記携帯端末が前記第１のエリアに存在すると判断することができ、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量及び前記

第２の物理量から、前記携帯端末が前記第２のエリアに存在すると判断することができるときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可する制御部、として機能させることを特徴とする。

【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】

本開示の第２の態様に係るプログラムは、コンピュータを、利用登録の有無に関わらず利用者が入場できる第１のエリアから、登録された利用者である登録者の入場が許可され、前記登録者以外の利用者の入場が制限されている第２のエリアへの入場要求である第１の入場要求、又は、前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場要求である第２の入場要求を行う利用者である要求者が使用する携帯端末から、前記第１の入場要求又は前記第２の入場要求を受信するとともに、前記携帯端末で計測された、前記第１のエリアと、前記第２のエリアとの間に配置されている第３のエリアに設置され、前記携帯端末と無線通信を行う無線通信装置と前記携帯端末との間の間隔に応じて変化する物理量を、前記携帯端末から受信する通信部、及び、前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記物理量から、前記携帯端末が前記第３のエリアに存在しないと判断することができ、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記物理量から、前記携帯端末が前記第３のエリアに存在しないと判断することができるときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可する制御部、として機能させることを特徴とする。

【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】

本開示の第３の態様に係るプログラムは、コンピュータを、利用登録の有無に関わらず利用者が入場できる第１のエリアから、登録された利用者である登録者の入場が許可され、前記登録者以外の利用者の入場が制限されている第２のエリアへの入場要求である第１の入場要求、又は、前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場要求である第２の入場要求を行う利用者である要求者が使用する携帯端末から、前記第１の入場要求又は前記第２の入場要求を受信するとともに、前記携帯端末で計測された、前記第１のエリアに設置され、前記携帯端末と無線通信を行う第１の無線通信装置と前記携帯端末との間の間隔に応じて変化する物理量である第１の物理量、前記第２のエリアに設置され、前記携帯端末と無線通信を行う第２の無線通信装置と前記携帯端末との間の間隔に応じて変化する物理量である第２の物理量、及び、前記第１のエリアと、前記第２のエリアとの間に配置されている第３のエリアに設置され、前記携帯端末と無線通信を行う第３の無線通信装置と前記携帯端末との間の間隔に応じて変化する物理量である第３の物理量を、前記携帯端末から受信する通信部、及び、前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量、前記第２の物理量及び前記第３の物理量から、前記携帯端末が前記第１のエリアに存在すると判断することができ、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量、前記第２の物理量及び前記第３の物理量から、前記携帯端末が前記第２のエリアに存在すると判断することができるときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可する制御部、として機能させることを特徴とする。

【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
本開示の第１の態様に係る入場許否判定方法は、通信部が、利用登録の有無に関わらず利用者が入場できる第１のエリアから、登録された利用者である登録者の入場が許可され、前記登録者以外の利用者の入場が制限されている第２のエリアへの入場要求である第１の入場要求、又は、前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場要求である第２の入場要求を行う利用者である要求者が使用する携帯端末から、前記第１の入場要求又は前記第２の入場要求を受信し、前記通信部が、前記携帯端末で計測された、前記第１のエリアに設置され、前記携帯端末と無線通信を行う第１の無線通信装置と前記携帯端末との間の間隔に応じて変化する物理量である第１の物理量、及び、前記第２のエリアに設置され、無線通信を行う第２の無線通信装置と前記携帯端末との間隔に応じて変化する物理量である第２の物理量を、前記携帯端末から受信し、制御部が、前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量及び前記第２の物理量から、前記携帯端末が前記第１のエリアに存在すると判断することができ、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記制御部が、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量及び前記第２の物理量から、前記携帯端末が前記第２のエリアに存在すると判断することができるときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可することを特徴とする。
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
本開示の第２の態様に係る入場許否判定方法は、通信部が、利用登録の有無に関わらず利用者が入場できる第１のエリアから、登録された利用者である登録者の入場が許可され、前記登録者以外の利用者の入場が制限されている第２のエリアへの入場要求である第１の入場要求、又は、前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場要求である第２の入場要求を行う利用者である要求者が使用する携帯端末から、前記第１の入場要求又は前記第２の入場要求を受信し、前記通信部が、前記携帯端末で計測された、前記第１のエリアと、前記第２のエリアとの間に配置されている第３のエリアに設置され、前記携帯端末と無線通信を行う無線通信装置と前記携帯端末との間の間隔に応じて変化する物理量を、前記携帯端末から受信し、制御部が、前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記物理量から、前記携帯端末が前記第３のエリアに存在しないと判断することができ、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記制御部が、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記物理量から、前記携帯端末が前記第３のエリアに存在しないと判断することができるときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可することを特徴とする。
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】

本開示の第３の態様に係る入場許否判定方法は、通信部が、利用登録の有無に関わらず利用者が入場できる第１のエリアから、登録された利用者である登録者の入場が許可され、前記登録者以外の利用者の入場が制限されている第２のエリアへの入場要求である第１の入場要求、又は、前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場要求である第２の入場要求を行う利用者である要求者が使用する携帯端末から、前記第１の入場要求又は前記第２の入場要求を受信し、前記通信部が、前記携帯端末で計測された、前記第１のエリアに設置され、前記携帯端末と無線通信を行う第１の無線通信装置と前記携帯端末との間の間隔に応じて変化する物理量である第１の物理量、前記第２のエリアに設置され、前記携帯端末と無線通信を行う第２の無線通信装置と前記携帯端末との間の間隔に応じて変化する物理量である第２の物理量、及び、前記第１のエリアと、前記第２のエリアとの間に配置されている第３のエリアに設置され、前記携帯端末と無線通信を行う第３の無線通信装置と前記携帯端末との間の間隔に応じて変化する物理量である第３の物理量を、前記携帯端末から受信し、制御部が、前記携帯端末から前記第１の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量、前記第２の物理量及び前記第３の物理量から、前記携帯端末が前記第１のエリアに存在すると判断することができ、かつ、前記要求者が前記登録者であるときに、前記要求者の前記第１のエリアから前記第２のエリアへの入場を許可し、前記制御部が、前記携帯端末から前記第２の入場要求が送られてきた場合に、前記第１の物理量、前記第２の物理量及び前記第３の物理量から、前記携帯端末が前記第２のエリアに存在すると判断することができるときに、前記要求者の前記第２のエリアから前記第１のエリアへの入場を許可することを特徴とする。